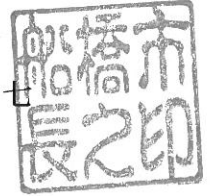




船道建第 569 号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 様

船橋市長 藤 代 孝 七



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

日頃より地方道路行政に対しご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付、国道企第37号でご依頼のありました、表題の件について、別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

平成21年度より道路特定財源の一般財源化が決定しておりますが、本市においては現在、都市計画道路等幹線道路の整備が立ち遅れていることに加え、橋梁等既存ストックの老朽化も顕在化していることから、引続き道路の新設・改良に係る事業費及び橋梁・舗装等の維持修繕に係る安定的な財源の確保が必要であります。

また、休日における湾岸地域の交通渋滞についても周辺住民に対し深刻的な問題となっているとともに、同地区周辺の経済活動の妨げとなっていることから、国・県にお願いしている（仮称）湾岸船橋インターチェンジ及び関連事業の早期完成に向け優先的な予算配分をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

② ー 1 地域の現状と抱える課題

○現状 ・ 湾岸地域の慢性的な渋滞 ・ 国県道及び都市計画道路等幹線道路網整備の遅れ ・ 橋梁等既存ストックの老朽化 ・ 通園通学路の安全対策の遅れ ・ 自転車駐車場整備の遅れ ・ 生活道路の舗装・排水等維持修繕の遅れ	○課題 ・ 新たな補助メニュー創設を含む安定的な財源の確保 ・ 用地確保に係る関係地権者の理解と協力 ・ 橋梁の耐震補強及び維持修繕に係る鉄道事業者等との連携
--	--

今後の道路行政についての意見・提案

② ー 2 地域の目指すべき将来像

◎都市の活力を生み発展し続けるまち

(市民生活と産業の活動を支える都市基盤の形成)

1. 船橋らしさを活かした都市づくり
2. 海を活かした魅力あるまちづくり
3. 安全で快適な交通体系の整備
4. 魅力ある市街地の整備

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・都市交通の快適性、利便性の向上	・インターチェンジの新設	・渋滞による損失時間の低減。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・あんしん歩行エリアの拡大	・死亡事故の低減。	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・歩道整備・既存歩道の段差解消	・高齢者、身体障害者及び妊婦をはじめ誰もが安全で安心して外出できるようになる。	
・計画的・効果的な維持管理や更新の推進	・橋梁の長寿命計画策定	・計画に基づく維持管理や更新が行われることにより、施設の延命化が図られ社会の要請に対応した新規投資が可能となる。	